

令和2年1月10日

愛知県上海産業情報センター
林 秀 幸

一般調査報告書 江蘇省蘇州市相城区について

江蘇省蘇州市は長江の南、江南の主要都市として古くから栄えてきました。上海市に隣接し、その面積は約8,488km²で、日本の広島県（約8,479km²）とほぼ同じ広さの都市です。蘇州市の常住人口は1,000万人を超えており、中国の都市人口ランキングでも常に10位前後に位置する大都市です。市は5つの区と4つの市から構成されていますが、今回はその行政区の一つ「相城区」をご紹介します。

1. 蘇州市相城区の概況

蘇州市相城区は2001年に成立した比較的新しい行政区です。蘇州市のほぼ中央に位置し、面積は約489km²で愛知県の新城市（約499km²）ほどの広さがあります。区の西側は古来からの景勝地である太湖と接し、東側には上海蟹の産地で有名な陽澄湖の三分の二の水域も含まれる自然豊かな地域です。

近隣の上海市や南京市、杭州市からは1時間交通圏内であり、現在、区の中心地にある高速鉄道蘇州北駅をハブとして、道路網、鉄道網の整備が急速に進んでいます。区内にはすでに4本の高速道路と2本の高速鉄道、2本の地下鉄路線が走っていますが、計画ではさらに1本の高速道路と2本の高速鉄道、13本の地下鉄路線の整備が予定されています。



現在の高速鉄道蘇州北駅周辺（出典：相城区商招局資料）

相城区はインフラの整備も含めて、まさに現在進行形で建設の進んでいる新興区で、区全体を機能別に、バイオ医療系の黄埭高新区、人工知能技術などの漕湖国家経済技術発展区、デジタル研究開発などの元和省級高新区、ビッグデータ・金融などの陽澄生態新区（高铁新城）、観光エリアの陽澄湖生態観光リゾート区といった5つのエリアに区切って開発が進められています。とはいえ、そのスケールは壮大で、新城市（約499km²）とほぼ同じ面積を5つに分けて開発するということであり（ちなみに名古屋市の面積は約326km²）、一つの開発エリアだけでもその規模は広大です。

この5つのエリアの最も中心的なエリアは、高速鉄道蘇州北駅を中心とした陽澄生態新区（高铁新城）です。区域の25%が湖にあたり、緑化率30%、陽澄湖の海岸線47キロを有する生態環境とハイテク産業の融合した「東方シリコンバレー」を目指すエリアとされており、その区域はさらに、インテリジェントビジネス・イノベーションコミュニティ、長江デルタ国際研究開発コミュニティなど5つのコミュニティに分割されて整備される計画になっています。



陽澄生態新区（高铁新城）エリア（出典：相城区商招局資料）

また、相城区では、こうした区の全域を発展させる開発計画をベースとして、さらに日中間における産業連携に重点をおいた開発エリアを整備しようとする計画があります。「蘇州（相城）中日スマート製造協力イノベーションエリア」の建設計画です。

2. 蘇州（相城）中日スマート製造協力イノベーションエリア

2018年、相城区は蘇州（相城）中日スマート製造協力イノベーションエリアの建設承認を受けました。これは中国内の中日産業協力重点地域の一つとなるビッグプロジェクトです。

エリアの計画範囲は相城全域をカバーしており、中心区の面積は38.5km²で、ちょうどトキが羽根を広げた姿を模した「一核二翼」の形状で計画されています。エリアは面積が6.5km²の中核サービス区を始め、22km²の西翼「技術転化翼」と10km²の東翼「知的支援翼」の3区画から成ります。「中核サービス区」は文字通り中核をなすエリアで、中日産業の需要窓口、スマート製造開放データの

共有プラットフォーム、新興産業と技術模範基地、技術孵化共有サービスセンター、第三者の市場開拓サービスセンター、国際購買とマーケティングセンターなどの機能を集約するエリアです。

「技術転化翼」のエリアは、次世代の情報技術、ロボットと部品、新材料と増材製造、ハイエンド医療器械、新エネルギー自動車とスマート自動車といった五つの重点分野に焦点を当て、競争力のあるスマート製造産業群を集積するエリアです。「知的支援翼」のエリアは、中日スマート製造産業人材総合サービスセンター、科学技術金融サービスセンター、研究開発企業本部などの機能を集約するエリアとなっています。



蘇州（相城）中日スマート製造協イノベーションエリアの「中枢サービス区」（出典：相城区商招局資料）



この蘇州（相城）中日スマート製造協カイノベーションエリアは、中国政府が進める国内の3大経済圏構想である、北京を中心とした「京津冀経済圏」、上海を中心とした「長江デルタ経済圏」、広州を中心とした「珠江デルタ経済圏」の3つの経済圏構想の一つ「長江デルタ経済圏」の中核をなすモデル地区の一つとして注目を集めています。

筆者が現地を訪れた2019年11月時点では、蘇州（相城）中日スマート製造協カイノベーションエリアはまだ計画段階であり、その実像を見ることはできませんでしたが、計画の概要について語る地元政府の方々の熱い口調や、区内の至る所で進められている地下鉄整備やマンション建設といった開発工事を目の当たりにして、壮大な計画の実現に向けて邁進する相城区の人々の熱意や活気を感じることはできました。

今後、さらにインフラや計画された施設群の整備が順調に進めば、相城区は上海、南京、杭州からほぼ等距離にあるという地理的利便性も高く、長江デルタ一体化の流れの中で、将来的に重要な中核をなす存在になる可能性を秘めているように思われます。



将来の高速鉄道蘇州北駅周辺（出典：相城区商招局資料）

上海産業情報センターでは、今後も中国の現地情報を提供して参ります。

本資料は、参考資料として情報提供を目的に作成したものです。

上海産業情報センターは資料作成にはできる限り正確に記載するよう努力していますが、その正確性を保証するものではありません。本情報の採否は読者の判断で行ってください。

また、万一不利益を被る事態が生じても当センター及び愛知県等は責任を負うことができませんのでご了承ください。